

=====

ESET Cyber Security v9.0.4500.0 リリースノート

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

=====

■はじめに

キヤノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。  
このリリースノートには、ESET Cyber Security（以後、本製品と記載）を正しく  
利用いただくための情報が記載されています。  
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・本製品は、Intel 製 CPU および Apple M1、M2、M3 と M4 チップを搭載した機器で動作いたします。
- ・本製品をインストールする前に、すべてのプログラムを必ず終了してください。
- ・本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。
- ・本製品をインストールする場合は、管理者権限を持つユーザーでインストールしてください。

■ESET Cyber Security Pro/ESET Cyber Security v6.x からのバージョンアップについて

- ・ESET Cyber Security Pro/ESET Cyber Security v6.x から本バージョンへのバージョンアップが完了した後、手動で「ESET Real-time File System Protection」や「ESET Cyber Security」にフルディスクアクセスの権限を付与する必要があります。
- ・ESET Cyber Security Pro/ESET Cyber Security v6.x からバージョンアップすると本バージョンで実装されている機能設定のみが引き継がれます。未実装の機能の設定は、以下のパス上に保存されます。  
/Library/Application Support/ESET/Security/Backup/ConfigurationV6  
この設定は、現在未実装の機能が実装された場合に、その設定を引き継ぐために

使用されます。

- 本バージョンへのバージョンアップ時に、以下の設定は引き継がれません。
  - ESET Cyber Security Pro の複雑なファイアウォールルール(受信通信または送信通信を許可/ブロックするアプリケーションルールのみが移行されます)
  - 権限設定(バージョン 9.0.4500.0 ではサポートされていません)
  - 隔離コンテンツ
  - 検査の駆除レベル
  - オンデマンド検査のプロファイル

#### ■既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースやモジュールで修正される可能性があります。

##### 警告ウィンドウの不備

リアルタイムファイルシステム保護の駆除レベルで「駆除なし」を選択した時、警告ウィンドウは表示されるが、アクションを選択することができません。

##### 通知の不備

ESET 製品でマルウェアを検出したとき、検出、駆除はされるが一部環境で検出時の通知が表示されないことがあります。

##### USB メモリの自動検査の不備

USB メモリを接続し、自動検査が実行されてもマルウェアを検出しません。ただし、リアルタイムファイルシステム保護やオンデマンド検査では、正常に検出、駆除されます。

## ■変更履歴

### □v9.0.4500.0 からの変更点

- ・ Web アクセス保護のプロトコルチェックで、HTTPS と HTTP3 のプロトコルが追加されました。
- ・ デバイスコントロール機能が追加されました。
- ・ macOS Tahoe 26 に対応しました。
- ・ 特定の状況でファイアウォールのルールが破損する問題を修正しました。
- ・ アプリケーションのステータスが一致しない問題を修正しました。
- ・ macOS でリアルタイムファイルシステム保護に権限が付与できない問題を修正しました。
- ・ フォールバックルールの設定がデフォルトの設定に戻ってしまう問題を修正しました。
- ・ プロトコル例外で、Safari を対象外のアプリケーションに登録しても、マルウェアが検出されてしまう問題を修正しました。
- ・ 様々な小さな問題を修正しました。

### □v8.2.3000.0 からの変更点

- ・ ファイアウォールが有効な ECS v8 や ECSP v6.x からのバージョンアップは、ファイアウォールの有効化は引き継がれますが、それ以外は規定で無効になりました。
- ・ ファイアウォールは、Gradle や Messenger などのアプリケーションのローカルホスト接続をブロックしなくなりました。
- ・ モジュールが最新であるにもかかわらず、ESET 製品が古いモジュールであると報告する問題を修正しました。
- ・ バージョン 7 からバージョン 8 にアップグレードしたとき、一部の設定が適切に移行されない問題を修正しました。
- ・ イベント ログに大量の「Interrupted system call」ログが記録される問題を修正しました。
- ・ アップグレード後にオンボーディングが起動するはずがないのに起動する問題を修正しました。
- ・ アップグレード中にサービスが停止する問題を修正しました。
- ・ ネットワーク アクセス保護が無効にされた場合、メモリ使用量が高くなる問題を修正しました。
- ・ 様々な小さな問題を修正しました。

□v8.2.800.0 からの変更点

- ・ファイアウォールが追加されました。
- ・インストール時に、インストールするコンポーネントを選択できるようになりました。

□v7.5.74.0 からの変更点

- ・macOS Sequoia 15 に対応しました。
- ・脆弱性 (CVE-2024-6654) に対応しました。
- ・電子メールクライアント保護の不具合が修正されました。
- ・Web アクセス保護の通知の不具合が修正されました。
- ・リムーバブルメディア上のマルウェア駆除の不具合が修正されました。

□v7.4.1600 からの変更点

- ・Apple M3 チップが対応しました。(2024 年 2 月 13 日追記)
- ・Apple M1 と M2 チップにネイティブ対応しました。(Rosetta 2 が必要なくなりました。)
- ・コンピューターの検査ログの詳細から「未検査」の詳細が確認できるようになりました。

- ・製品のバージョンを自動でアップグレードすることが可能になりました。

※自動アップデートは、v7.x 以上のバージョンから最新バージョンへの自動アップグレードになるため、v6.x からのアップグレードは、手動で行う必要があります。

- ・インストーラが多言語対応しました。OS の言語設定に従い、インストールする言語が自動的に選択されます。

※日本でのサポートは、日本語のみになります。

- ・GUI は、ダークモードを基調としたデザインに変更されました。
- ・パフォーマンス、安定性、全般的な製品のセキュリティが向上しました、

□v6.11.404 からの変更点

- ・macOS Ventura 13 に対応しました。
- ・一部の不具合が改修されました。

□v6.11.100 からの変更点

- ・Apple M2 チップへの対応
- ・インストーラの証明書が更新されました。

□v6.11.2.0 からの変更点

- ・ macOS Monterey 12 に対応しました。
- ・ Mac 向けプログラムのサービス停止に関する脆弱性が修正しました。

■製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/>

ESET 製品 Q&A ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/support/>